

# 平成 31 年度(令和元年度) 面河山岳博物館主要事業報告

## 1. 展示事業

### (1)春の企画展「愛媛のはな・むし・とり・けもの」

期間：4月27日(土)～6月9日(日)

内容：愛媛に生息する野生動植物のうち、主に石鎚山系に見られる種を館所蔵品の写真や標本で紹介。  
イシヅチオサムシやコマドリ、ヤマセミなどの標本・剥製、ナンゴククガイソウやシコクフウロ  
の写真など約500点を展示した。

入館者数：561人

### (2)第53回特別展「ときめく石きらめく虫～久万高原のお宝鉱物と世界の輝く昆虫～」

期間：7月20日(土)～9月1日(日)

内容：1950年代から1990年頃まで、現在の久万高原町明神には安山岩の碎石場が複数あった。当時、高殿および槇野川地区では岩体中から多数の晶洞が見つかっており、沸石・魚眼石・方解石などの美しい鉱物が多産している。本特別展ではこれら久万高原町に産する美しい鉱物約50点と世界の鉱物120点を展示し、私たちの暮らす地面がどのようにしてできたかという地史について普及した。また、世界や久万高原に生息する美しく輝く昆虫類を同じ会場、同じケース内で展示し、地学と昆虫学という全くの異分野を同時に扱うことで、幼児や小学生を含む幅広い年齢層に鉱物と昆虫の造形美をより効果的に伝え、自然科学の面白さや奥深さの普及を目指した。

入館者数：合計5,804人 【有料】4,307人 【無料】1,497人

※有料内訳：一般個人1,047人、一般個人減免1,486人、一般団体33人

小中学生個人393人、小中学生個人減免970人、小中団体46人

小中生 障がい者 個人38人、高齢者294人

### 【特別展関連イベント】(合計参加者113名)

#### 1. ナイトミュージアム～ブラックライトで光る鉱物や標本を観察しよう！～(参加者数：35名)

○日時：7月26日(金)19:00～21:00 ○場所：面河山岳博物館 ○講師：山岳博物館学芸員

○参加費：300円

○内容：夜の博物館でブラックライトを使った蛍光鉱物や生物標本の観察、夜行性動物のお話など。

#### 2. 身近な石から絵の具をつくろう！(参加者数：10名)

○日時：8月4日(日)13:00～14:30 ○場所：面河山岳博物館

○講師：菊池博喜さん(愛媛県立小田高等学校美術教員) ○参加費：400円

○内容：河原の石を細かくつぶして絵の具をつくり、ポストカードに塗って作品作りをおこなった。

石鎚山系の地史についても実物の河原の石を使って、詳しく解説した。

#### 3. 特別講演会「大地の恵み～鉱物と人のくらし～」(参加者数：33名)

○日時：8月9日(金)19:00～20:30 ○場所：久万高原町産業文化会館研修室

○講師：石橋隆さん(公益財団法人益富地学会館研究員) ○参加費：200円

○内容：石や鉱物と私たちの生活には切っても切れない関係がある。久万高原の砕石や別子銅山、市ノ川鉱山などを中心に愛媛の鉱業史を解説。人々を魅了してやまない珍しい鉱物や美しい鉱物についても紹介した。

#### 4. 特別講演会「カメラがとらえた昆虫たちの輝き」(参加者数：35名)

○日時：8月21日(水) 19:00~20:30 ○場所：久万高原町産業文化会館研修室

○講師：新開 孝さん(昆虫写真家) ○参加費：200円

○内容：熱帯雨林のジャングルに行かなくても、ごく身近な場所で美しく輝く昆虫たちを見ることができる。写真家の目で見た小さな輝きの世界を紹介した。

### (3)秋の企画展「紅葉と蝶」

期間：10月12日(土)～11月30日(土)

内容：面河山岳博物館の所蔵する5,000点を超すチョウ類標本のうち、厳選した美麗種約1,000点を展示。色鮮やかなチョウに合わせ、久万高原町在住のアマチュア写真家・秋本栄氏による面河溪・石鎚山の紅葉をとらえた大型写真を展示。自然の織りなす多彩な色の世界を紹介した。

入場者数：1,355人

## 2. 久万高原町生物多様性保全推進事業

### (1)モモンガクラブ

今年度で12年目の町民限定事業。石鎚山系と久万高原町の自然およびそれに付随する文化を知ること、地域の生物多様性の価値と博物館活動の重要性への理解を促す。(今年度の登録会員51名)

表. 実施事業一覧

	日時	内容	場所	人数
1	4/20 10~13時	春の野草を食べる会 in 久万公園	久万公園、町民館	21
2	5/19 10~12時	面河溪を歩く～色の不思議いろいろ～	博物館、面河溪	17
3	6/22 10~12時	夜の田んぼの生き物観察会	菅生地区の水田	17
4	7/28 10~12時	磨けば光る！身近な河原の石	博物館	9
5	10/3 19~21時	コウモリ観察会	博物館、面河溪	7
6	11/16 10~12時	岩石と鉱物の採集・観察会 in 御三戸	御三戸	24

実績：参加者合計95人

### (2)夜の講座

2013年より始まった主に町民を対象とした地元の自然と文化を知るための講座。様々な分野の専門家による最先端の研究成果を聞くことで、地域の生物多様性の実態について理解してもらった。なるべく多くの方が参加できるよう、開催時間は19時開始とした。本年度より受講料100円を徴収。

表. 実施事業一覧

	日 時	内 容	場 所	人数	講師
1	5/28	愛媛の外来生物	産業文化会館研修室	37	村上 裕 (県職員)
2	6/11	カメラがとらえた愛媛と久万高原のホタルと星空	産業文化会館研修室	51	北添伸夫 (プロカメラマン)
3	10/30	久万高原の無居住化集落の話	産業文化会館研修室	40	渡邊敬逸 (愛媛大准教授)
4	11/26	くらしの中のへび	産業文化会館研修室	71	山路綾子 (協力隊員)

実績：参加者合計 199 人

### 3. その他

#### (1) 学校教育及び社会教育団体等からの依頼対応

学校教育および社会教育団体への自然科学教育、地域学習の支援のため、以下のような講師派遣依頼に対応した。

表. 依頼対応一覧

月日	依頼元	人数	内容	場所
4.12	久万高原町総務課	20	関門の自然ガイド (新人役場職員向け)	関門遊歩道
5.14	町立父二峰小学校	8	水生生物観察会講師	二名川
5.24	町立面河幼稚園・小学校	20	関門の自然ガイド	関門遊歩道
5.24	済美高等学校	66	久万高原サイエンス合宿での危険生物の講演	久万高原ふるさと旅行村
5.25	済美高等学校	66	久万高原サイエンス合宿での面河溪ガイド	面河溪
5.29	町立久万幼稚園	34	参観日での自然観察会ガイド	幼稚園周辺
6.21	済美高等学校	63	久万高原サイエンス合宿での危険生物の講演	久万高原ふるさと旅行村
6.22	済美高等学校	63	久万高原サイエンス合宿での面河溪ガイド	面河溪
7.26	町立久万幼稚園	14	身近な生き物、昆虫とカエルの話	館内
7.26	NPO 法人みんなダイスキ松山冒険遊び場	36	面河溪の自然観察ガイド	面河溪
8.1	育和会 NIKONIKO 館	20	鮎物の話	館内
8.7	子育て支援団体マザーグースの会	18	昆虫のくらしや飼い方について講演	久万高原町つどいの広場
8.19	愛媛自然科学教室	23	面河溪観光開発、久万高原の鮎物について講演	館内
10.4	町立美川中学校全校登山	25	石鎚山の自然ガイド	石鎚山
10.14	愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科	22	展示解説、関門の自然ガイド	館内、関門
10.16	町立久万小学校	17	身近な昆虫の観察会講師 (1年生)	久万小学校周辺
10.18	町立畑野川幼稚園	35	参観日での移動博物館、自然のお話など	畑野川幼稚園
10.18	町立久万小学校	36	久万高原の珍しい生き物と普通の生き	久万小学校

			物に講演 (2年生)	
10.28	町立幼稚園4園遠足面河溪散策	24	企画展解説、面河溪での自然遊び	館内、面河溪
10.26	東温市教育委員会	31	「大人と子どものふれあい広場」にて面河溪の自然ガイド	面河溪
11.4	松山東雲女子大学	51	面河溪の歴史と自然ガイド	面河溪
11.12	上浮穴地区青年農業者連絡協議会	20	危険生物に関する講演	国民宿舎古岩屋荘
11.23	愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科	23	展示解説、関門の自然ガイド	館内、関門
1.15	NPO 法人西条自然学校	38	夜の学校での講演「ときめく石きらめく虫」について	西条市立図書館
2.17	町立仕七川小学校	14	講演「危険な生き物への対処法」	仕七川小学校
2.22	東温史談会・東温市教育委員会	35	郷土史講座での講演「愛媛の昆虫食」	東温市川内公民館

実績：26件 759名

## (2)山の日に合わせてオリジナルグッズの制作・販売

8月11日の山の日に合わせて、石鎚山とそこにすむ生物をモチーフにオリジナルTシャツ(100着)を制作した。愛媛新聞で取り上げられ、現在のところ86着を販売済み(1着1,800円)。

## (3)学芸員執筆による書籍の出版

### ①学芸員執筆による書籍の出版

徳島県立博物館および伊丹市昆虫館の学芸員と共著で、博物館スタッフが調査や展示の現場で使っているプロの技を子供に紹介する内容の書籍を執筆した。

#### 【概要】

書籍名称：100円グッズと身近な道具でできる！『博物館のプロのスゴ技で自然を調べよう』全4巻

(1)発見と採集 (2)観察と調査 (3)標本と工作 (4)展示と発表

少年写真新聞社刊行、AB判、48ページ、オールカラー、上製本(図書館堅牢製本) 1冊2,200円

### ②普及冊子「色で見分ける面河溪に咲く花」

面河溪の遊歩道沿いで見られる代表的な草花99種についてまとめた一般向けハンドブック。花の色で名前調べができる構成。A5、40ページ、オールカラー、1,000部印刷。

### ③普及冊子「久万高原の晶洞鉱物」

久万高原町から見つかっている晶洞鉱物に関する一般向け冊子。砕石産業史や晶洞鉱物の発見・研究史、文献リストをまとめ、多くの久万高原産標本の写真を掲載することで、地域自然史の記録と普及を目指した。A4、24ページ、オールカラー、1,000部印刷。

## (4)移動博物館の開催

博物館の活動をより多くの方にも知ってもらうため、館外で所蔵資料を展示した。

①久万高原の鉱物 10/24～12/5 (久万高原町役場本庁ロビー)

②久万高原の鉱物と御三戸の岩石 12/5～継続中 (久万高原町役場美川支所)

※上記2件の企画は平成31年度全国科学博物館活動等助成事業

③久万高原町の昆虫・鉱物・哺乳類 11/10 (面河住民センター) ※面河ふるさとまつりにて

## 参考資料(活動の記録写真)

### 1. 特別展

第53回特別展「ときめく石きらめく虫～久万高原のお宝鉱物と世界の輝く昆虫～」

(期間：7月20日～9月1日)



① 展示会場入口の様子(プラチナコガネの展示)



② 久万高原町産鉱物の展示コーナー



③ 特別展関連イベント「身近な石から絵の具をつろう！」

※8月4日(日)、10名参加



④ 特別講演会「大地の恵み～鉱物と人のくらし～」

※8月9日(金)、33名参加

### 2. 企画展



① 春の企画展「愛媛のはな・むし・とり・けもの」

(4月27日～6月9日)



② 秋の企画展「紅葉と蝶」

(10月12日～11月30日)

### 3. 夜の講座



①「くらしの中のヘビ」(講師:山路稜子、11/26、71名)



②「鉋物入門」(講師:西尾憲二、12/4、45名)

#### 4. モモンガクラブ



①「春の野草を食べる会 in 久万公園」  
(10月3日、参加者21名)



②「岩石と鉋物の採集・観察会 in 御三戸」  
(11月16日、参加者24名)

#### 5. 調査活動



①石鎚山系コウモリ調査



②博物館周辺コケ調査